

# CTC にアクセスするための複数の Java プラグインのインストール

## 目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[背景説明](#)

[複数の Java プラグインのリリース](#)

[ブラウザ情報](#)

[Mozilla のインストール](#)

[Java プラグインのインストール](#)

[ONS 15454 および 15327 との JRE の互換性](#)

[JRE J2SE の設定](#)

[J2SE JRE バージョン 1.2.2](#)

[J2SE JRE バージョン 1.3.1](#)

[J2SE JRE バージョン 1.4.2](#)

[確認](#)

[関連情報](#)

## 概要

このドキュメントでは、Cisco Transport Controller ( CTC ) にアクセスするために、複数の Java プラグイン リリースをインストールする手順について説明します。

## 前提条件

### 要件

次の項目に関する知識があることが推奨されます。

- Cisco Transport Controller
- Cisco ONS 15454/15327

### 使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアとハードウェアのバージョンに基づくものです。

- Cisco Transport Controller
- Cisco ONS 15454/15327
- Internet Explorer、Netscape、および Mozilla ( 同じ PC 上で 3 つの異なる Java ランタイム環境 ( JRE ) バージョンを使用する場合 )

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな ( デフォルト ) 設定で作業を開始しています。ネットワークが稼働中の場合は、コマンドが及ぼす潜在的な影響を十分に理解しておく必要があります。

## 表記法

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコテクニカルティップスの表記法](#)』を参照してください。

## 背景説明

このセクションでは、このマニュアルの内容を詳細に理解するために役立つ必要な背景情報を提供します。

## 複数の Java プラグインのリリース

複数の Java プラグイン リリースをインストールすると、複数の Cisco ONS15454/15327 運用ソフトウェアに正常にアクセスするために、Java プラグインのさまざまなリリースを削除し、再インストールする必要がなくなります。実装後、ユーザがアクセスするノードの運用ソフトウェアリリースに応じて、関連するブラウザを単に起動します。

## ブラウザ情報

ユーザが CTC を起動するブラウザは、ONS 15454 または 15327 をサポートする Java 2 ランタイム環境、スタンダード エディション ( J2SE ) の JRE バージョンによって異なります。[表 1](#) に、各バージョンの該当ブラウザを示します。

表 1 - J2SE JRE の各バージョンに対応するブラウザ

ONS 15454 または 15327 でサポートされるバージョン	CTC を起動するために使用するブラウザ
J2SE JRE リリース 1.2.2	Microsoft Internet Explorer
J2SE JRE リリース 1.3.2	Netscape
J2SE JRE リリース 1.4.2	Mozilla

## Mozilla のインストール

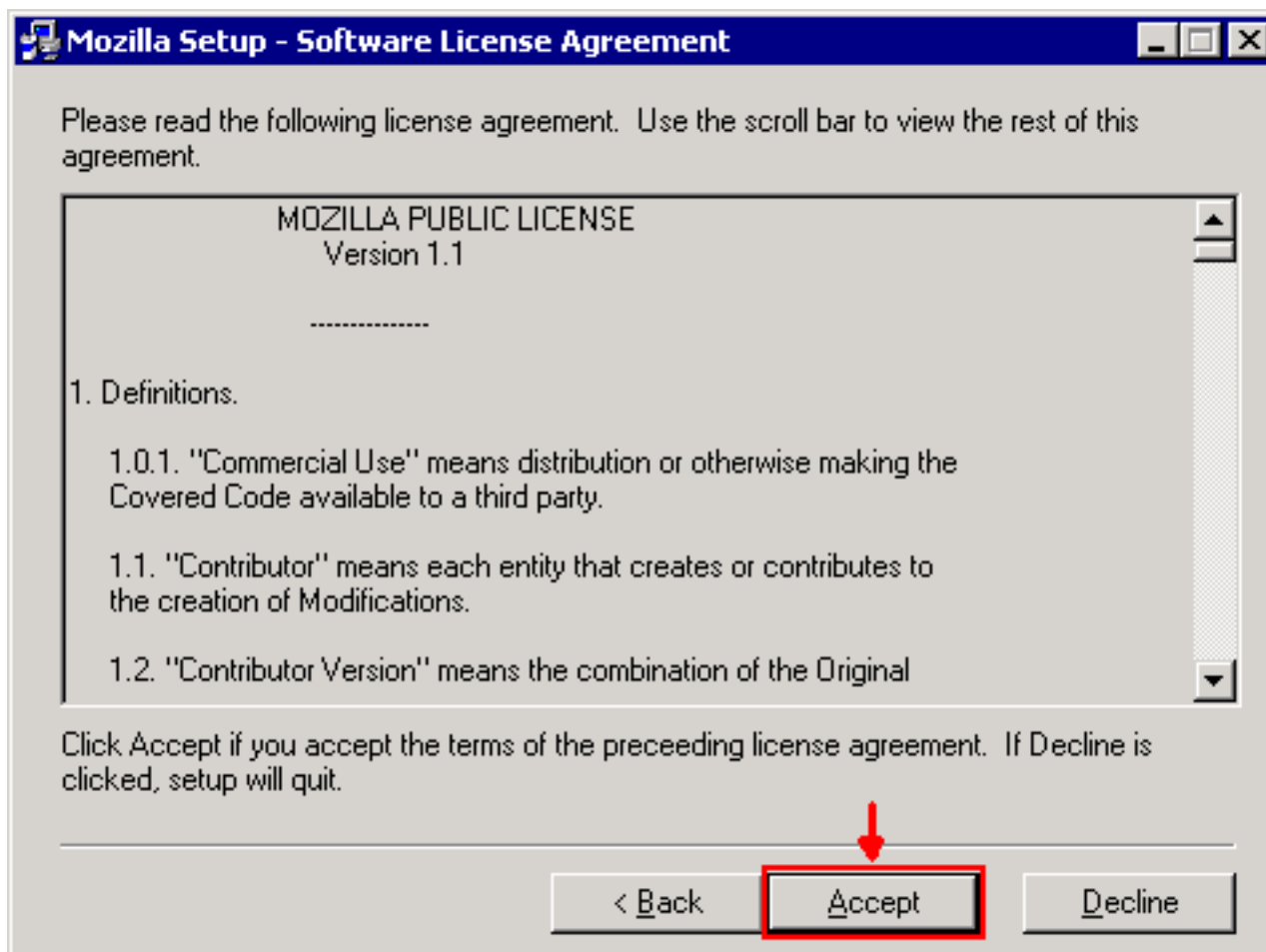
Internet Explorer および Netscape をすでにインストールしている場合でも、Mozilla をインストールする必要があります。3 つのブラウザをすべてインストールすると、同じ PC 上で 3 つの異なる JRE バージョンを使用できます。

Mozilla をインストールするには、まず [www.mozilla.org](http://www.mozilla.org) から Mozilla リリース 1.7.1 をダウンロードします。[ファイル名は mozilla-win32-1.7.1-installer](#) です。次の手順を実行します。

1. mozilla-win32-1.7.1-installer を実行します。[Mozilla Setup - Welcome] ウィンドウが表示されます ( [図 1](#) を参照してください )。図 1 – [Mozilla Setup: Welcome] ウィンドウ



2. [Next] をクリックします。[Software License Agreement] ウィンドウが表示されます ( [図 2](#) を参照してください )。図 2 – [Software License Agreement] ウィンドウ



3. ライセンスを読み、[Accept] をクリックします。[Setup Type] ウィンドウが表示されます ( 図 3 を参照してください )。図 3 – [Setup Type] ウィンドウ



4. [Complete] オプション ボタンを選択します。[Next] をクリックします。[Quick Launch] ウ

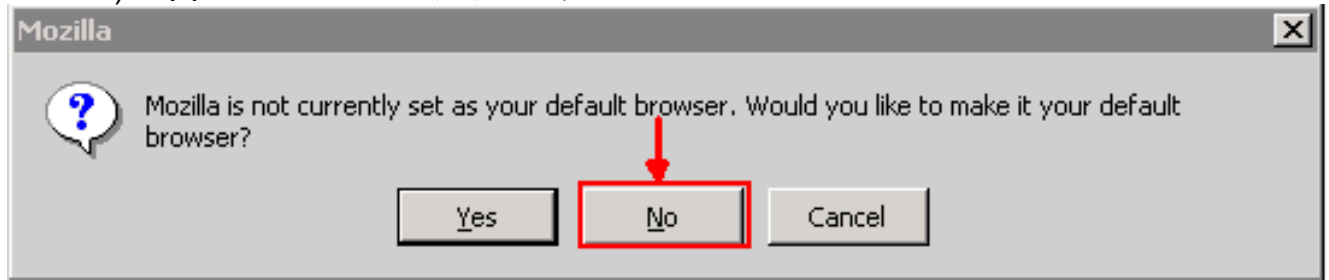
ウィンドウが表示されます ( 図 4 を参照してください )。 図 4 - [Quick Launch] ウィンドウ



5. [Next] をクリックします。 [Start Install] ウィンドウが表示されます ( 図 5 を参照してください )。 図 5 - [Start Install] ウィンドウ



6. インストールを開始するには、[Install] をクリックします。インストールが完了すると、デフォルト ブラウザとして Mozilla を設定するプロンプトが表示されます ( [図 6](#) を参照してください )。 **図 6 – Mozilla インストール完了メッセージ**



7. [No] をクリックします。

## [Java プラグインのインストール](#)

[Sun Microsystems](#) の Web サイトから、Java ランタイム環境、スタンダード エディション ( J2SE ) の以下のリリースをダウンロードします。

1. J2SE JRE リリース 1.2.2 ( `jre-1_2_2_017-windows-i586.exe` 以降のバージョンを使用 )。
2. J2SE JRE リリース 1.3.1 ( `j2re-1_3_1_14-windows-i586.exe` 以降のバージョンを使用 )。
3. JRE リリース J2SE 1.4.2 ( `j2re-1_4_2_06-windows-i586-p.exe` 以降のバージョンを使用 )。

注: すでに Java をインストールしている場合、シスコでは、Mozilla をインストール後、すべての JRE バージョンをアンインストールし、それらを正しい順序で再インストールすること ( 「 [JRE のインストール手順](#) 」 を参照してください ) を推奨します。

注: 既存の JRE バージョンをアンインストールするには、次の手順を実行してください。

1. [Start] > [Settings] > [Control Panel] > [Add/Remove Programs] の順に選択します。
2. アンインストールする JRE バージョンを選択し、[Remove] をクリックします。
3. [Windows Explorer] を開きます。
4. [Program Files] フォルダから、[Java] および [Javasoft] フォルダをすべて削除します。

## [JRE インストール手順](#)

インストール手順は次のとおりです。

1. J2SE JRE リリース 1.4.2 をインストールします。
2. J2SE JRE リリース 1.3.1 をインストールします。プロンプトが表示されたら、デフォルト ブラウザとして [Netscape] を選択します。JRE をインストールするには、デフォルト フォルダを使用します。フォルダを変更しないでください。
3. J2SE JRE リリース 1.2.2 をインストールします。JRE をインストールするには、デフォルト フォルダを使用します。フォルダを変更しないでください。

インストール後、新しい Java ポリシー ファイルを作成します。[Cisco Software Download] ページ ( [登録ユーザ専用](#) ) から、JRE 1.3.1\_02、Java ポリシー インストール、およびランチャ ポリシーをダウンロードできます。

3 つの J2SE JRE リリースに対して、元の Java ポリシー ファイルを新しい Java ポリシー ファイルで上書きします。さまざまなリリースに対する Java ポリシーへのパスは次のとおりです。

C:\Program Files\<JavaSoft or Java>\JRE\<JRE release>\lib\security\java.policy

## ONS 15454 および 15327 との JRE の互換性

表 2 に、ONS 15454/15327 ソフトウェア リリース、JRE、およびブラウザ間の互換性に関する情報を提供します。

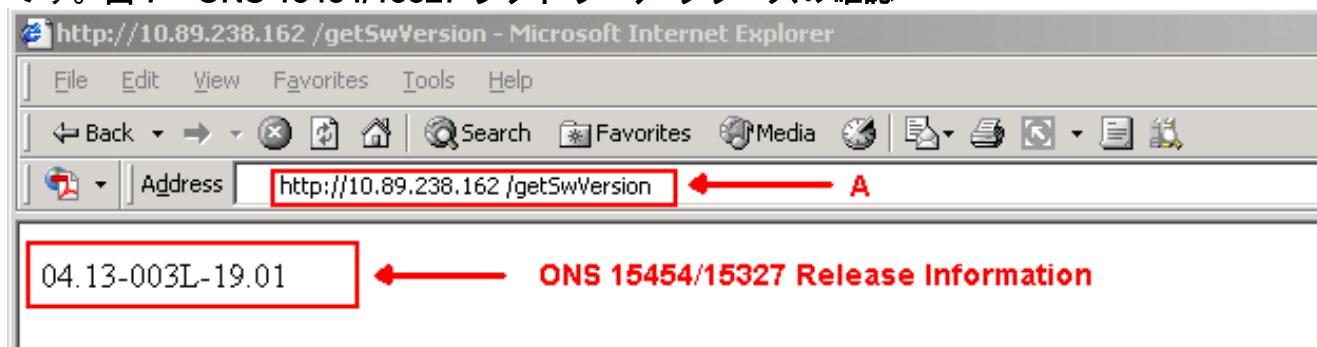
表 2 - ONS 15454/15327、JRE、およびブラウザ間の互換性

ONS ソフトウェア リリース	Internet Explorer ( JRE 1.2.2.x )	Netscape ( JRE 1.3.1.x )	Mozilla ( JRE 1.4.2.x )
2.2.0	○	なし	なし
2.2.1	○	なし	なし
2.2.2	○	なし	なし
2.3.4	○	なし	なし
3.2.1	○	なし	なし
3.3.0	○	なし	なし
3.4.0	なし	○	なし
3.4.1	なし	○	なし
4.0.1	なし	○	なし
4.0、2	なし	○	なし
4.1.0	なし	○	なし
4.1.3	なし	○	なし
4.1.4	なし	○	なし
4.6.2	なし	○	なし
4.7	なし	なし	○
5.0	なし	なし	○

注: ONS 15454/15327 3.2.1 または 3.3.0 リリース ソフトウェアを使用する場合、CTC が起動できない場合は、[Delete CTC Cache] をクリックします。次に、再度 CTC を起動します。

ONS 15454/15327 上の現在のソフトウェア リリースを確認するには、次の手順を実行します。

1. ブラウザ ウィンドウを開きます。
2. [Adress] バーに、ノードの IP アドレスを入力し、/getSwVersion を入力します。図 7 の A 矢印を参照してください。ノードへのネットワーク接続には、正しいコマンドの実行が必要です。図 7 - ONS 15454/15327 ソフトウェア リリースの確認



## JRE J2SE の設定

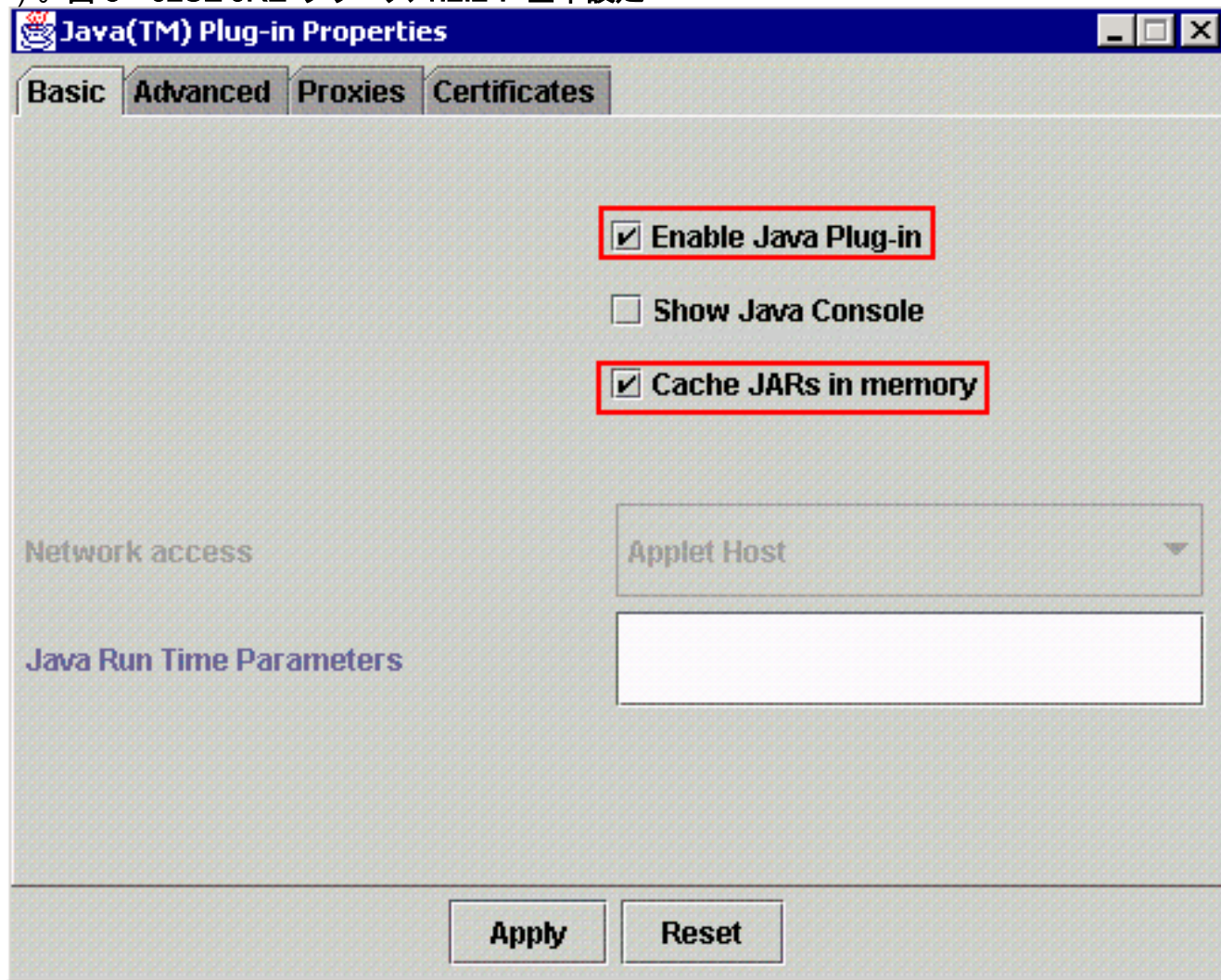
このセクションでは、使用する J2SE JRE リリース バージョンの適切な設定を指定するために完了する必要がある手順を示します。

## J2SE JRE バージョン 1.2.2

J2SE JRE リリース 1.2.2 の設定を指定するには、次の手順を実行します。

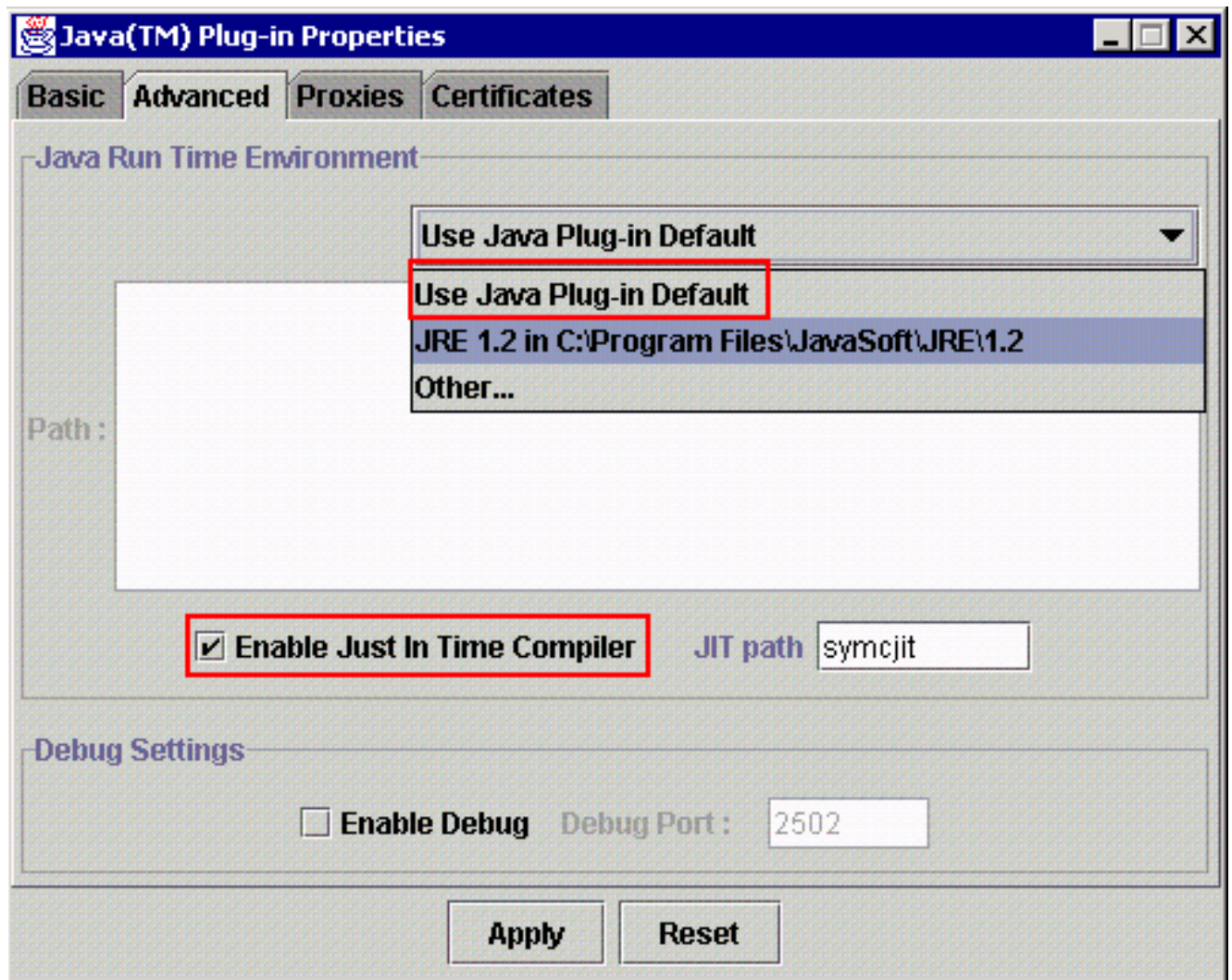
1. [Start] > [All Programs] > [Java Plugin Control Panel] の順に選択します。
2. [Java (TM) Plug-in Properties] 画面で、[Basic] タブの [Enable Java Plug-in] チェックボックスと [Cache JARS in memory] チェックボックスをオンにします ( [図 8](#) を参照してください )。

図 8 – J2SE JRE リリース 1.2.2 : 基本設定

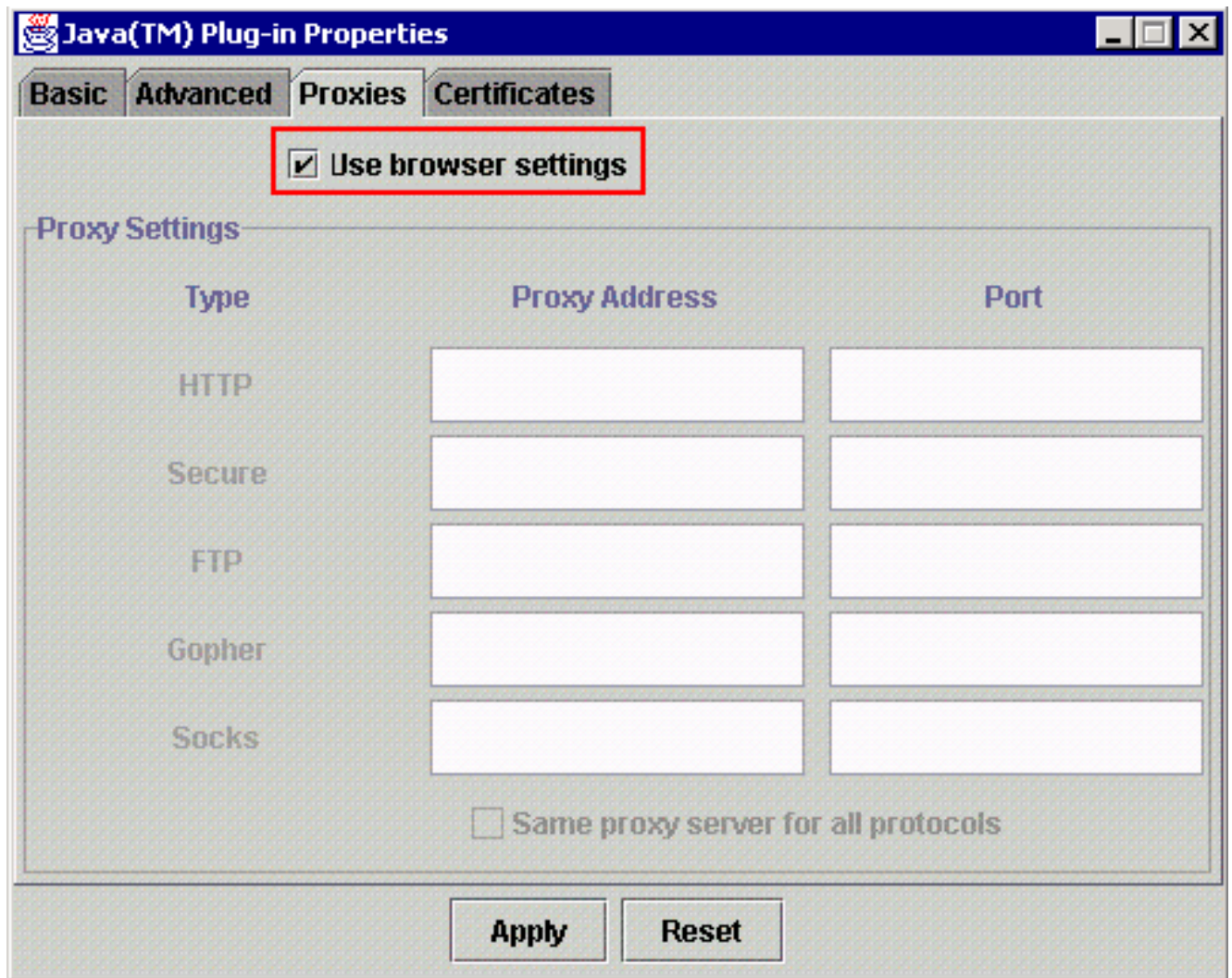


3. [Advanced] タブに移動します。
  4. [Use Java Plug-in Default] オプションを選択し、[Enable Just In Time Compiler] チェックボックスをオンにします ( [図 9](#) を参照してください )。
- 図 9 – J2SE JRE リリース 1.2.2 : 高度な設定





5. [Proxies] タブに移動します。
6. [Use browser settings] チェックボックスをオンにします ( [図 10](#) を参照してください )。 **図 10 – J2SE JRE リリース 1.2.2 : プロキシ設定**

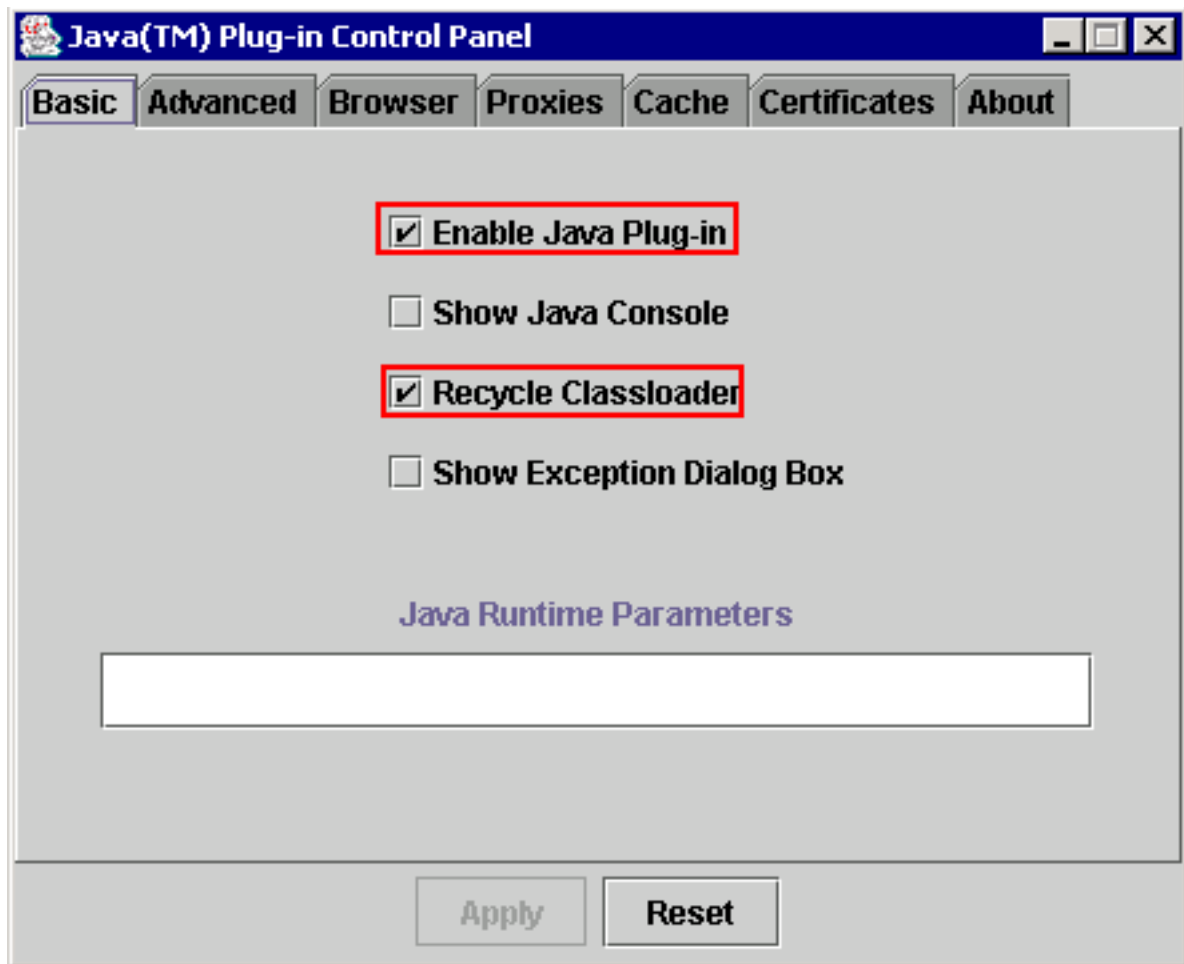


7. [Apply] をクリックします。

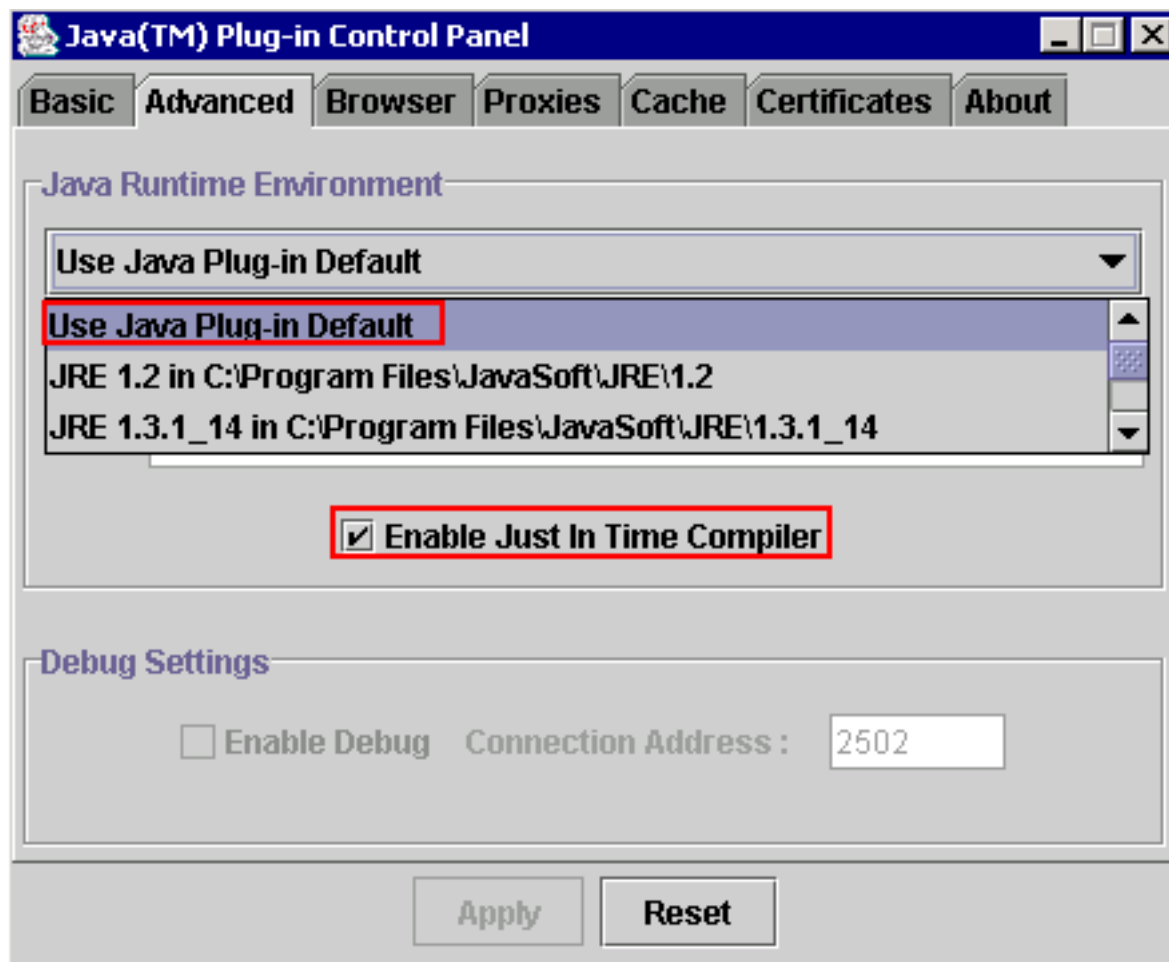
## J2SE JRE バージョン 1.3.1

J2SE JRE リリース 1.3.1 の設定を指定するには、次の手順を実行します。

1. [Start] > [Control Panel] > [Java Plugin 1.3.1\_X]の順に選択します。
2. [Java(TM) Plug-in Control Panel] ウィンドウで、[Basic] タブにある [Enable Java Plug-in] チェックボックスと [Recycle Classloader] チェックボックスをオンにします ( [図 11](#) を参照してください )。 **図 11 – J2SE JRE リリース 1.3.1 : 基本設定**

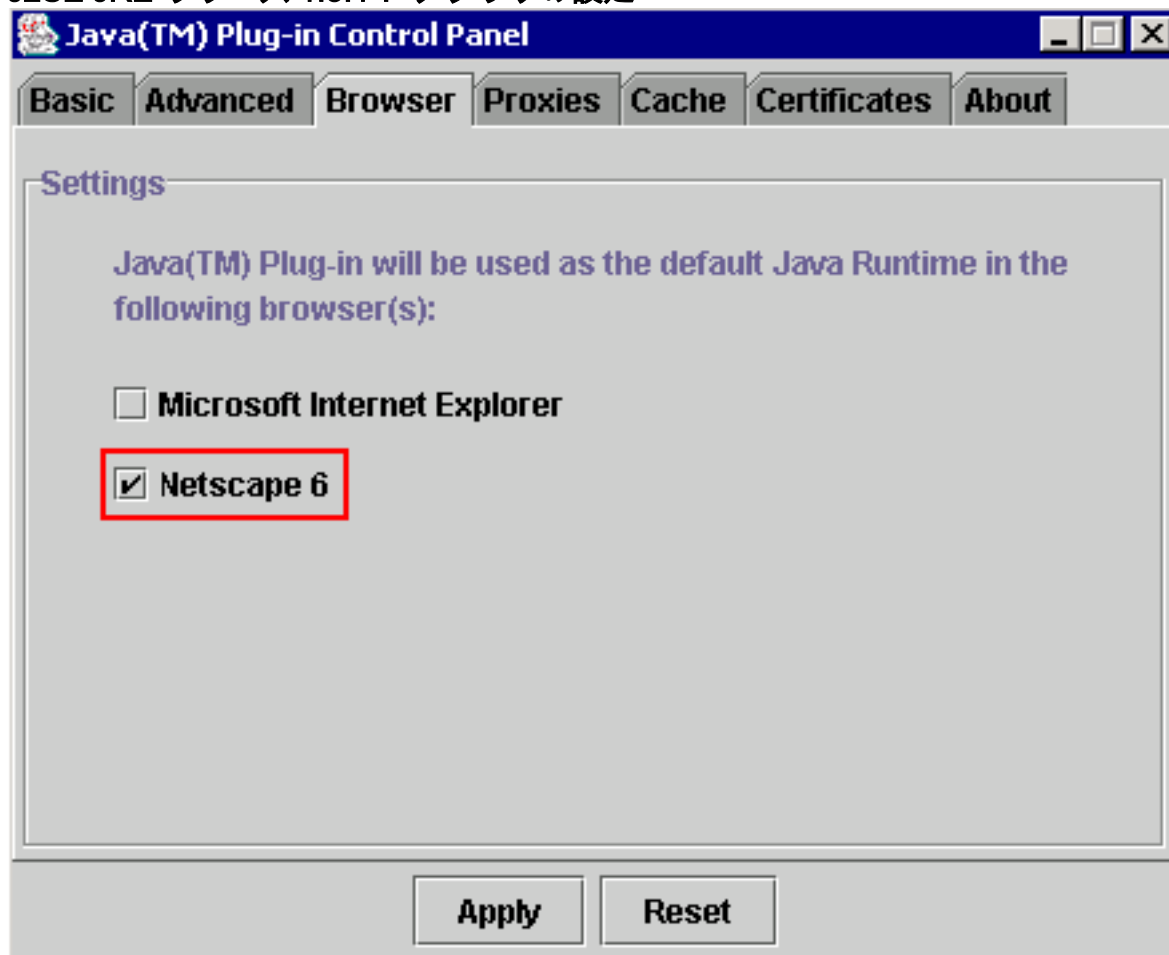


3. [Advanced] タブに移動します。
4. [Use Java Plug-in Default] オプションを選択し、[Enable Just In Time Compiler] チェックボックスをオンにします ( [図 12](#) を参照してください )。 **図 12 – J2SE JRE リリース 1.3.1 : 高度な設定**

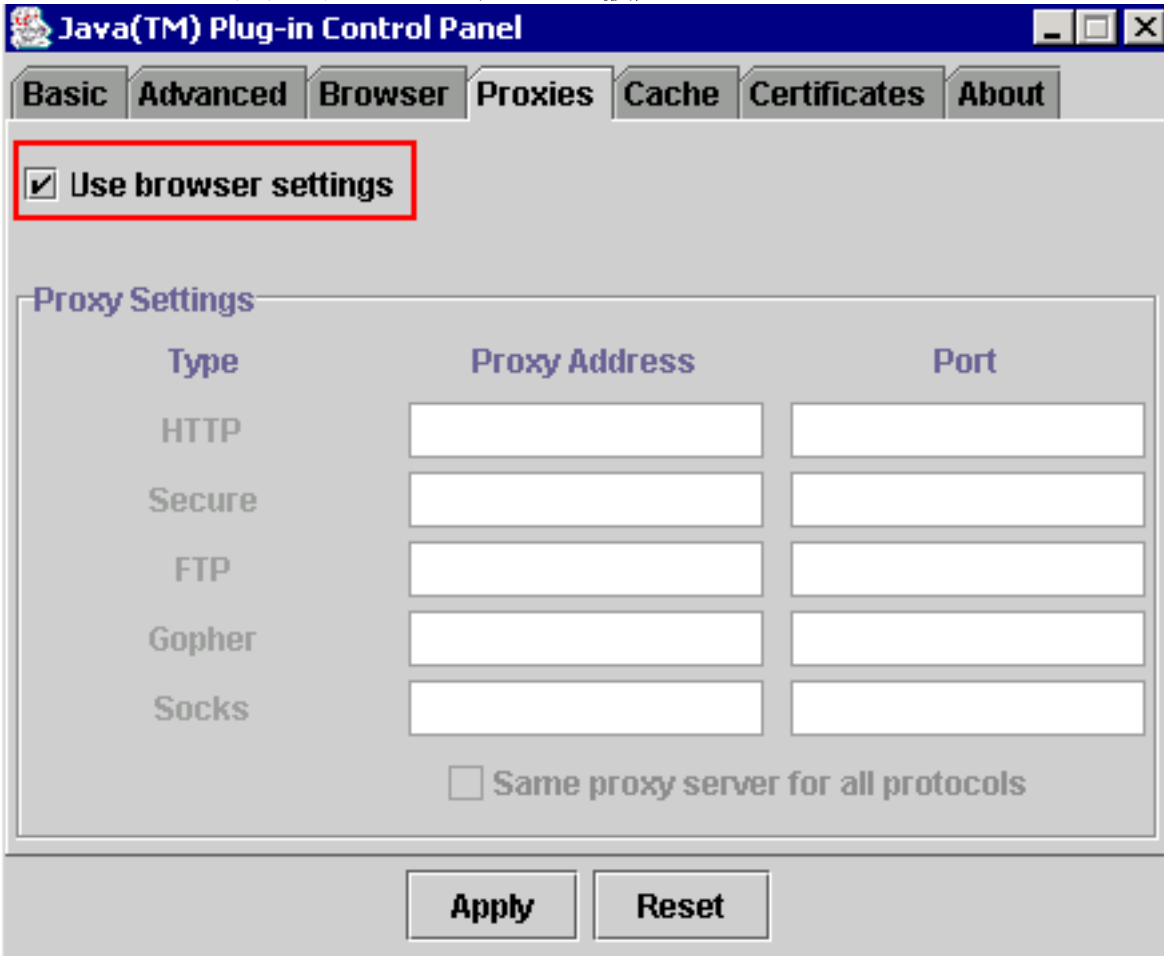


5. [Browser] タブに移動します。

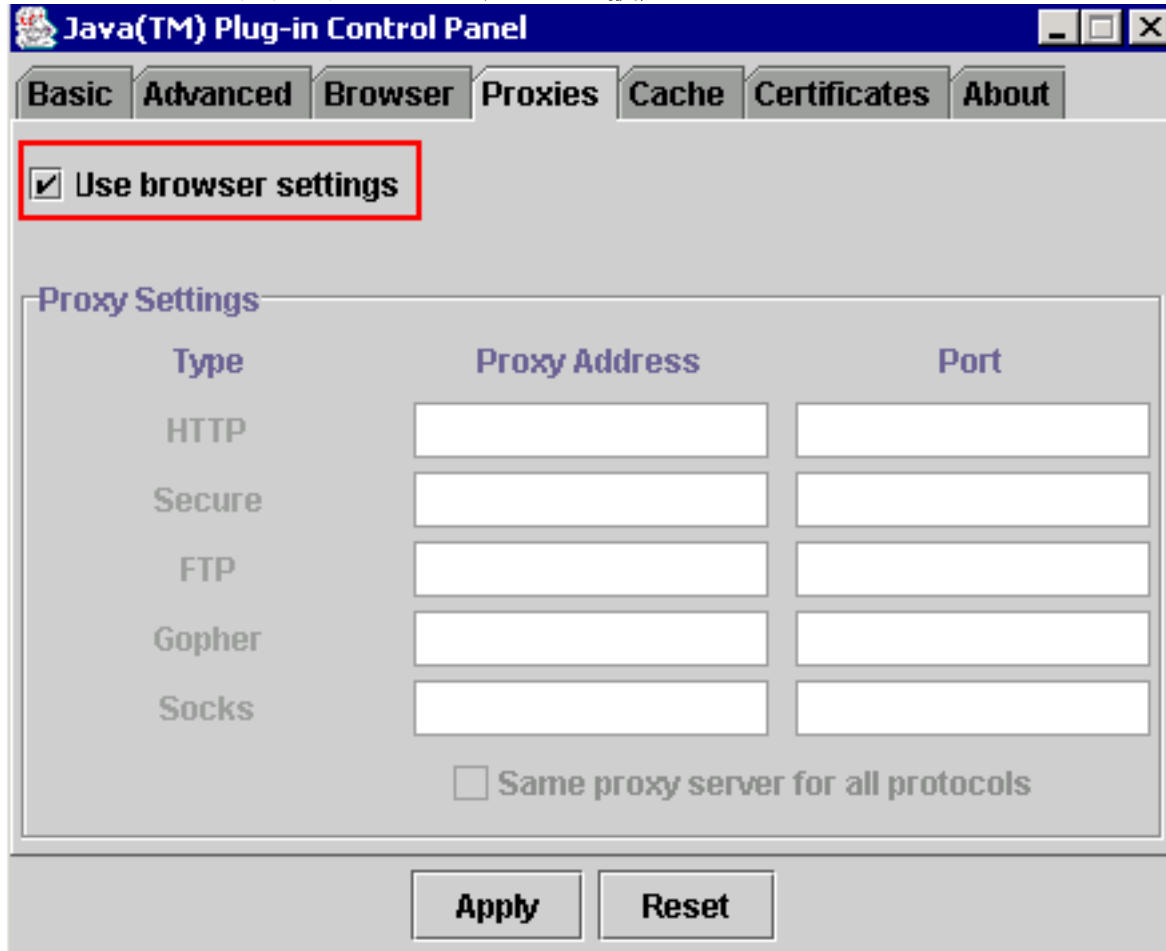
6. [Netscape 6] チェックボックスをオンにします ( [図 13](#) を参照してください )。 **図 13 – J2SE JRE リリース 1.3.1 : ブラウザの設定**



7. [Proxies] タブに移動します。

8. [Use browser settings] チェックボックスをオンにします ( [図 14](#) を参照してください )。 

#### 14 – J2SE JRE リリース 1.3.1 : プロキシ設定

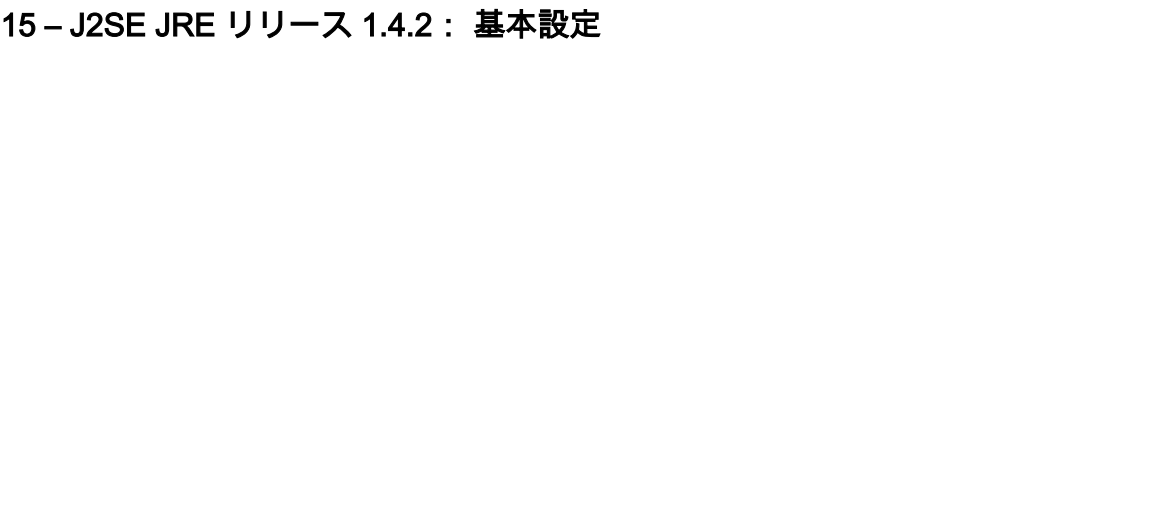


9. [Apply] をクリックします。

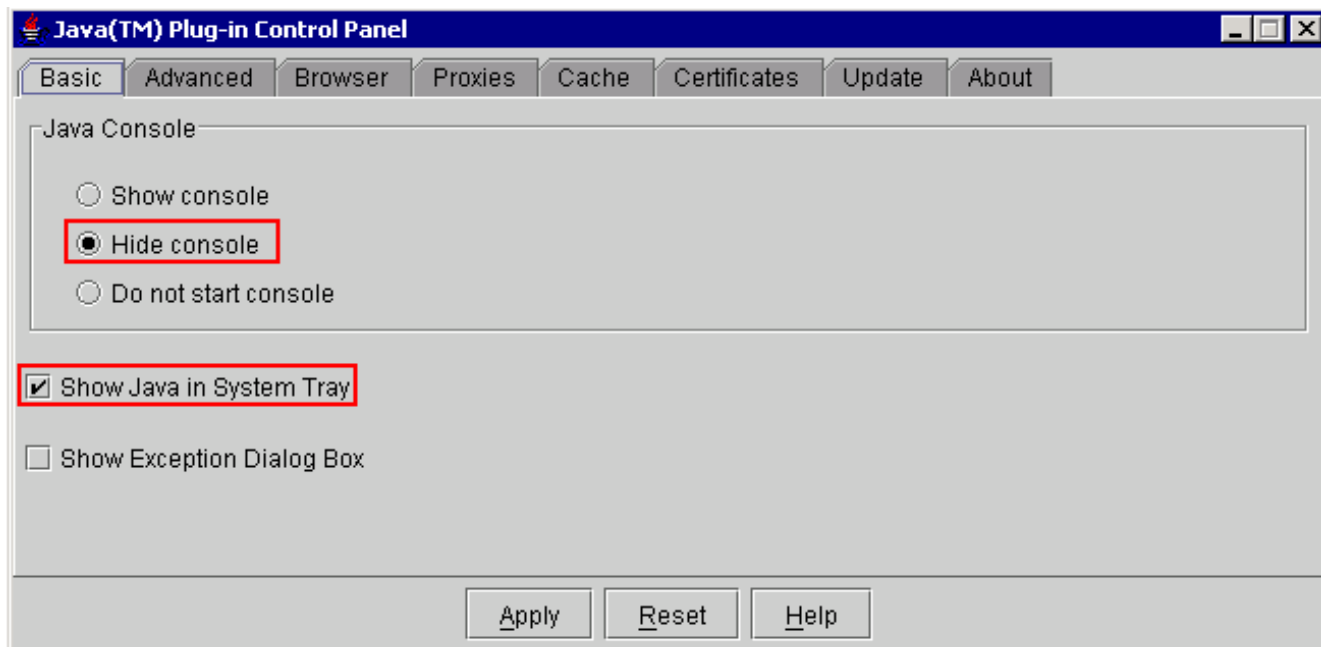
## [J2SE JRE バージョン 1.4.2](#)

J2SE JRE リリース 1.4.2 の設定を指定するには、次の手順を実行します。

1. [Start] > [Control Panel] > [Java Plugin] の順に選択します。

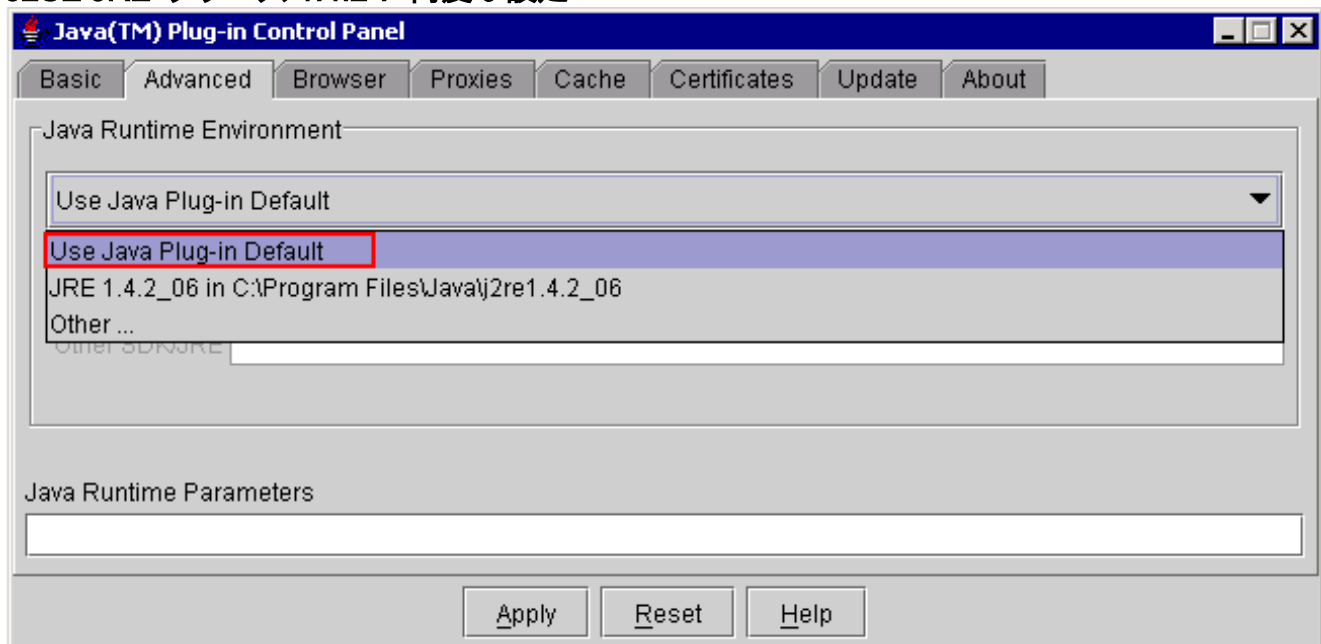
2. [Java Console] セクションの [Hide console] オプションを選択し、[Basic] タブにある [Show Java in System Tray] チェックボックスをオンにします ( [図 15](#) を参照してください )。 

#### 15 – J2SE JRE リリース 1.4.2 : 基本設定



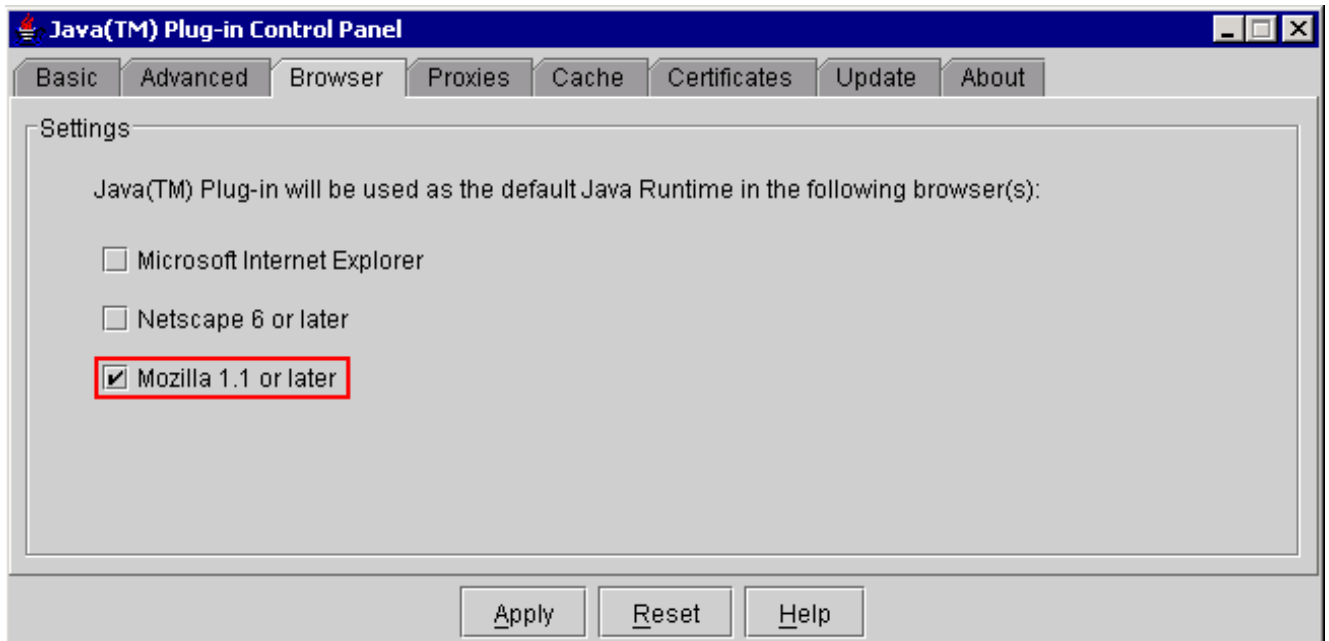
3. [Advanced] タブに移動します。

4. [Use Java Plug-in Default] オプションを選択します ( [図 16](#) を参照してください )。 **図 16 – J2SE JRE リリース 1.4.2 : 高度な設定**



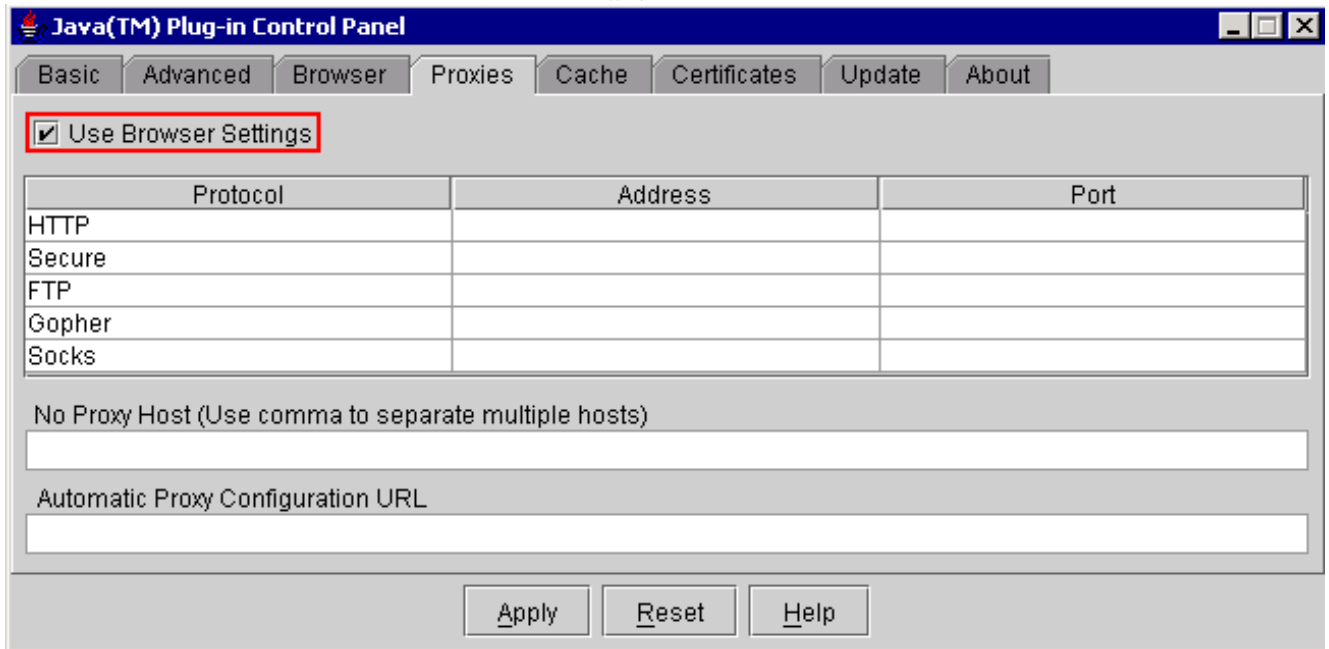
5. [Browser] タブに移動します。

6. [Mozilla 1.1 or later] チェックボックスのみオンにします ( [図 17](#) を参照してください )。 **図 17 – J2SE JRE リリース 1.4.2 : ブラウザの設定**



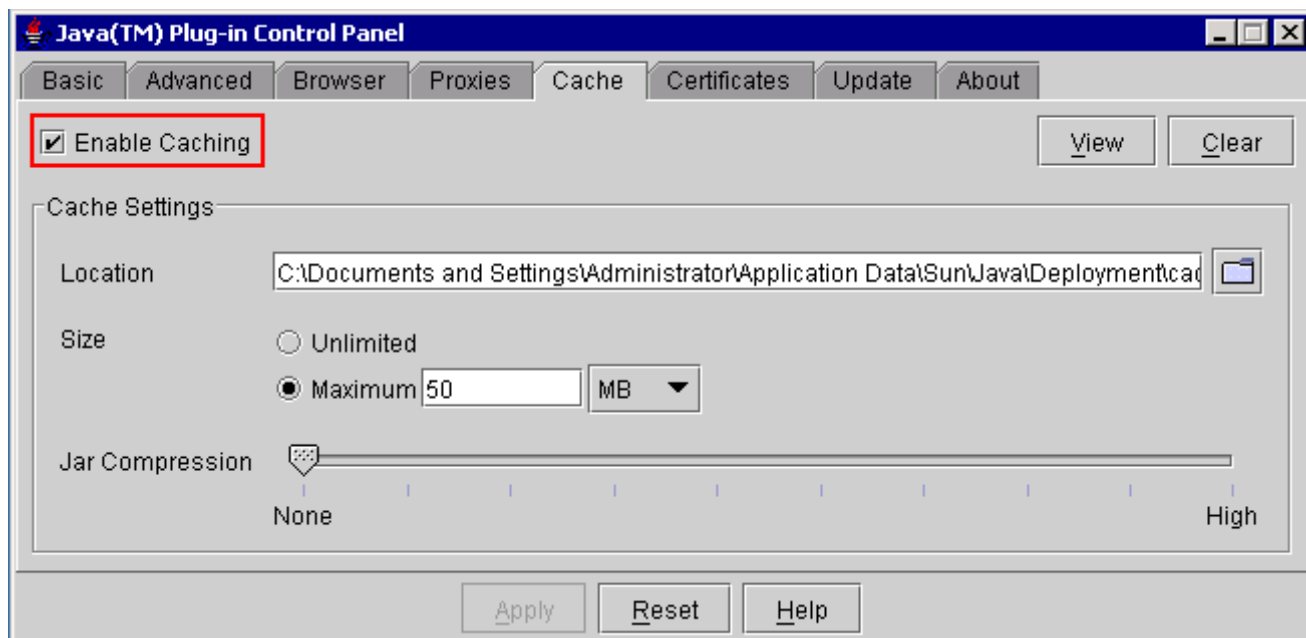
7. [Proxies] タブに移動します。

8. [Use browser Settings] チェックボックスをオンにします ( [図 18](#) を参照してください )。 **図 18 – J2SE JRE リリース 1.4.2 : プロキシ設定**



9. [Cache] タブに移動します。

10. [Enable Caching] チェックボックスをオンにします ( [図 19](#) を参照してください )。 **図 19 – J2SE JRE リリース 1.4.2 : キャッシュの有効化**



## 確認

インストールを確認するには、次の手順を実行します。

1. 適切なブラウザを開きます。使用するブラウザの詳細については、[表 1](#) を参照してください。
2. アプリケーションが正常に実行されているかどうかを確認するには、Metro Planner を起動します。注: Metro Planner リリース 2.5 を使用している場合、Metro Planner を動作させるために .bat ファイルを検出し、作成する必要があります。注: リリース 4.x.x を実行する ONS 15454/15327 にアクセスする場合には、古いポリシー ファイルが存在することを示すウィンドウが表示される場合があります。このウィンドウでは、ポリシー ファイルの上書きを確認するメッセージが表示されます。[Don't show this message again] チェックボックスをオンにして、[NO] をクリックします。[YES] をクリックすると、元の Java ポリシー ファイルがデフォルト ファイルとして設定され、リリース 2.x.x にアクセスできなくなります。

## 関連情報

- [JRE のダウンロード、インストール、および ONS 15454 と 15327 の CTC との互換性マトリクス](#)
- [テクニカルサポートとドキュメント - Cisco Systems](#)